

Okahata

NEWS LETTER

Business updates, new ideas and more
from Okahata

2022
04

積み上げる AWARDS

OKAHATA AWARDS
2021 ツミキ The Movie

Streaming Now! [Click](#)



リスタートから今年で4年目を数える、
岡畑興産の社内表彰「Okahata Awards」。
それぞれが、得意を活かして軽やかに、
次はどんなステージにはばたけるか。
“ツミキ”な取り組みは続きます。

In case you missed

今月の Okahata News

 Click

マークを
クリックして
WEBへ

CONTENTS

HEADLINES

化学品



Twitter @okahatachemical  Click

■ 岡畑興産、PEKK拡販加速  Click

(化学工業日報記事)

■ 上海ロックダウン  Click

興産 ブログ

興産ブログ  Click

■ 岡畑興産のアジアソーシング  Click

■ 高吸水性ポリマーとは?  Click

活性剤三部作

■ 食器用洗剤に使われる界面活性剤とは?  Click

■ 環境汚染を防ぐ食器用洗剤とは?  Click

■ シャンプーの成分「界面活性剤」の種類毎の
特徴とは?  Click

フットウェア



Twitter @kutsunavi_OKH  Click

シューズの最新情報、「くつナビ」の更新情報など



くつナビ  Click

■ くつナビ的 シューズ開発レクチャー Vol.1
「開発を始める前に」  Click

■ くつナビ的 シューズ開発レクチャー Vol.2
「さあ開発を始めよう!」  Click

■ 靴職人の仕事を紹介  Click

■ 発泡TPU
反発弾性半端ないInfienergy  Click

■ セルロースナノファイバー(CNF)、
その特徴と靴への可能性  Click

社長の、割とまじめな話。

岡畑典裕



 動画(2021年OkahataAwardsのツミキご紹介)、
見てから、読んでもらえると嬉しいです。
今回は、ツミキ誕生秘話と、くつナビ/コンテンツSEOの裏
話を、専門家/立役者のおふたりに書いていただきました。

伝えたいのは、対面営業しか知らなかった超アナログ原料
商社が、デジタルを実ビジネスにつなげるチャレンジを軽
やかに実行できた仕掛けについて。ツミキやりたい人(笑)、
SEOやってみたい方々の後押しになれば!

詳しくは、おふたりに譲るとして、社長として大事にしてき
たのは、何をやるより、**やる順番/文脈(いつどこ、どの順)**。
岡畑興産の目指す、正しい順番/文脈とは、

- 人を決め→やることを決める。(仕事に人を当てる、ではない)
- 褒めたら→できる。(できたら褒める、ではない)
- 挑戦→失敗→やっと分かる→できる。(失敗の次が大事)
- 安心/安全→やろう!(応用編:勝算→背水の陣)
- まず信頼→そして管理。
- 最後は、感謝で。

そして、Awardsのツミキは、隠れたヒーローヒロインへの
ありがとう、なのです。

書くは易し、行うは難し、、、だからこそ、専門家の手を借り
まくり、事あるごとに言語化/仕組み化、実行しやすいよう
(自分さえも)後押ししていく。それを、しかめっ面でなく、
ユーモアとスケベ心(商売っ気)を携えて。

果実のひとつが、くつナビ。おかげさまで、思いも寄らな
かった分野のお客様、**まだ見ぬ君とのビックビジネス**がい
よいよ始動、ムフフ。

というわけで、素材メーカーの皆さま、用途不明のスゴイ
ヤツ、**展示会デビュー前の開発品コンテンツづくり**を、岡
畑興産に託してみませんか?(スケベ心)

■ **コンテンツ請負サービス** 

今月も読んで頂き、ありがとうございます。

特集記事

■ ツミキとAwardsが生まれるまで、
■ SEO専門家が斬る「くつナビのここがスゴい」
と、今月のコンテンツをお楽しみ下さい。

岡畑流“褒め”を力に変える ツミキとAwardsが 生まれるまで



2018年、かつての社内表彰制度をリスタートした Okahata Awards。マンネリになりがちな社内表彰を自社流に変えていった岡畑社長に、当社の視覚コミュニケーション・デザイン担当ディレクターの柚本が、この4年間の経緯と想いを伺いました。

柚本 もう4年目になるんですね。

岡畑 社長に就任して2年目くらいから、社内表彰を復活したいなってずっと考えていて。
自分自身の経営のギスギス感とか、余裕のなさみたいなのと格闘してた頃です。ただ、そういうのって伝わっちゃうから、自分が率先して「真面目に遊ぶ」ということをやっていこうとは思っていました。

柚本 Direction※も、普通に「社訓」みたいなイメージでなく、ワクワクしながら仕事ができるような空気を伝えられるものに、ということでしたね。 ※岡畑興産の企業理念

岡畑興産の企業理念
“岡畑Direction”



岡畑 当時、ホルモンのことを色々しらべていて、営業とか目標管理的には、ドーパミン（刺激）。うちに足りないのは、幸せホルモンと呼ばれる“セロトニン・オキシトシン”（安心、共感、感謝）だなど。それで、仕事で遊べる社風をと考えたんです。

柚本 遊びや余裕といったことは、ずっと口にされていましたね。それを視覚的にもどう伝えるかを、ずいぶんと擦り合わせさせていただきました。

岡畑 社員の得意や強みを活かせるように、のびのびと仕事をしてもらって、それが成果につながれば。そのためには、枠を決めずにその人その人のがんばりに光を当てることが大事だと。

柚本 Okahata Awardsは賞の名目も固定ではなく独特ですが、そういうことなんですね。まずは称賛すべき頑張りありきと。



今年度のOkahata Awards受賞者たち

岡畑 祝われて嬉しく、みんなの記憶に残る社内表彰を考えた時に、金一封だけでなく、表彰の“盾”にかわる象徴的なものと考えて…

柚本 それが積み木なんですね。

岡畑 そうなんです。見た目に洒落てることと、デスクに置いてどんどん積み上げていって欲しいと思ったんですよね。他の社員の目にも留まるし。盾とかだと、置いとくと邪魔になるでしょう。

柚本 最初、こんなのにしたいと知育玩具の積み木を見せられた時は、「え？小さい！」って思いました(笑)。でき上がったオカハタ・ツミキは、それよりも更に小さくなりましたが。

岡畑 手のひらサイズ。理想の大きさです(笑)。



Okahata Awards
2021年度の授賞すべてのツミキ(動画)


柚本 賞名も独特ですね。讚えるだけでなく、中にはドンマイな賞もあるのが面白い。

岡畑 賞の選考も、意図はまじめに、名前にはユーモアを。今年だと、“ゆめしごと”、“ドアを開ける”、“できる奴には仕事が集まる”。過去には、“GameChanger”、“即戦力にも程がある”、“バタバタ”、“ご自愛”、“涙”とか。Awardsが光を当てたい場所が理解してもらえるかなあと思います。

柚本 “涙”は、「頑張りすぎて泣いちゃったで賞」でしたね(笑)。毎年違っていて、印象に残ります。

岡畑 その年その年での振り返りから賞を決めますからね。加えて、得意を仕事に活かすということも評価したい思いがあって、今回の「ゆめしごと」やガゼット賞、MVP「くつナビ編集長」などはその例です。その人の得意が強みとして仕事に活かされたことが賞につながりました。

柚本 得意なことが活かせるということは、自分の存在価値を、より強く感じることができそうです。

岡畑 僕らはチームですから、持ち場をしっかり守りそれぞれが役割を果たすことで、支え合っているわけです。チームの強さのためには、どこが欠けてもいけません。

柚本 社員の成果って、自然と社内で共有してるんですね。記憶に残るAwards、とおっしゃった意味も、そういうところにあるんでしょうか。

岡畑 それもありますが、でもやっぱり、楽しんでもらいたいというのが一番かな。
社外は戦いの場ですからギスギスは仕方ないけど、社内はもっと安心して、のびのびと仕事ができる場にしたいんです。そういう、自由と遊びのある社風にしていくためには、まずは僕自身が全力で遊ぶことだと思ってます。

柚本 はい、十分に体现されていらっしゃるかと(笑)。
4年目となると、何個ももらった方も？



4年間で最多(?)受賞者のツミキ



得意を活かして本年度受賞!

岡畑 ええ。ようやく“積み木”らしくなってきたかな。
ちょっと誇れる、岡畑ではたらく“ワクワク”を形にしたつもりで、長く続けていけるAwardsのプラットフォームになったと思っています。
続けていってこそその“積み木”ですから。

柚本 これからも遊び心をスパイスに、皆さんの頑張りと実績が積み上げられていくのが楽しみです。
ですね。ありがとうございました。

SEO専門家が斬る くつナビのここがスゴい

～プロ目線での足跡と実績～

SEOエバンジェリスト
スドウ ヒデキ



2020年12月10日、目黒。からの肉。

思えばこの日から岡畑興産×私のオモシロワークが始まりました。

思いっきりB to Bの会社がコンテンツSEO?と最初は正直「本当にやるのか?」と半信半疑でした。

が、蓋を開けてみれば社長の本気度、スピード感にあたふたしながら、皆さんのコンテンツビジネスへの意識の高さに助けられながら進められております。

旗振り役(?)の犬塚さんをはじめ、社内ですタートされたフットウェア・コンテンツ「くつナビ」プロジェクト。今回は「記事は岡畑興産の皆さんが書く」ことだったので、書く人も、さらには旗振り役のご苦労は大変なものだったでしょう。

両者協議の上キーワードを選定し、我々が記事の設計書を作成し、皆さんに記事を書いていただく。

当初は設計書通りに記事が上がってこなかったことが多々ありました。

ですがWEBサイトのアクセス数が伸びて来るにつれ皆さんのライティング技術も上がり、まさに**自社で運営するオウンドメディア!**と豪語することができるようになったのではないのでしょうか。

ここで岡畑興産「くつナビチーム」のスゴイところをご紹介します。

記事はチームの皆さんが書いている!

通常記事を書くのはライター役目ですが、今回のプロジェクトでは全ての記事がチームの皆さんによって書かれております。私のお客様でも最初は自社で書く!と始めますが、数か月、いや1ヵ月で音を上げ最終的にはライター任せになります。

キーワード選定前の「記事の素」もチームで!

どんな面白い記事でも検索(Google)に引っかからなければ存在しないのと同じ。検索の需要があり、競合が少ないキーワードを選定する必要があります。キーワード調査は私の役割ですが、その前のヒント(記事の素)を考えるのはチームの皆さんです。お客様とのQAから、また靴作りに一見関係ないワードでもヒントになる可能性がある、これをチームの皆さんも感じ取ることができるようになったと思います。

KEYWORD

靴作りなのに…**海洋プラスチック**

靴作りなのに… **犬**

若手の活躍!

頭の柔らかいZ世代による記事の素選定。その名も「岡畑Z会」。Z会のブレストはとてもエキサイティングです。靴作り×〇〇〇、この記事の素になる〇〇〇を考えるのがZ会の役割です。

営業寄りになりそうなところを、意表を突くネタの構成は若手ならではの。キーワード調査の幅、もちろん記事の幅、当然ターゲットの幅も広がることになります。

SOURCE

靴作り×**アニメ**

靴作り×**仕事**

靴作り×**高齢者**

靴作り×**ライフイベント**

想定外の業種からのお問い合わせ増!

ターゲットの幅が広がることにより、考えもしなかった業種からのお問い合わせが増えています。

幅が広がったことにより、さらに記事の素が広がる効果が出てきました。

コンテンツは24時間365日働く営業マン!

土日祝日、年末年始、就業時間外、「人」の営業マンは通常お休みとなります。一方コンテンツは24時間365日働いてくれます。出社したら、日中別の仕事をしている間にお客様からのお問い合わせが入る!

「24時間365日働く営業マンを作る!」これも岡畑興産が目指していたもののひとつです。

まだ始まったばかりで、想像もしていないキーワードの金脈の発掘作業は今も続いています。

くつナビを読めば問い合わせをしたくな〜る!岡畑興産に遊びに行きたくな〜る!そんなおまじないのような、遊園地のようなコンテンツを岡畑興産の皆さんと作り続けたいと思います。



今年度のMVPにも輝いた、
くつナビチームリーダーの犬塚さん



このプロジェクトの立役者、犬塚さんは2021年度のOkahata AwardsのMVPに輝きました。

犬塚さんがMVPと聞いた瞬間、胸が熱くなりました… MVP受賞、本当におめでとうございます!

「犬塚、半端ないって!」

■ 編集後記

介護あるある

(社内報Gazette2022年4月号より転載)

地域の友人たちと介護の情報や悩みを共有するために発足させた「Pre Care Cafe」も10年が経ち、メンバーの生活も状況も徐々に変化してきました。私は介護を終了、現在は介護者と被介護者の間にいます。

私の父はヘビースモーカーで晩年は慢性閉塞性肺疾患(COPD)を患い、コロナで有名になったパルスオキシメーターと高濃度酸素吸入器が欠かせませんでした。酸素を吸いながらタバコに火をつけようとする父に「タバコと命どっちが大事なの」と聞くと、間髪を入れず「タバコ」と答えた父。怒りにまかせて飛び出し、ドトールでコーヒーを飲みながら頭を冷やすこと30分。帰宅後「タバコを吸う時は酸素はやめようね」と話した時、おとなしく頷く父の姿にちょっと涙が出ました。そんな父を5年間介護し看取りましたが、あれもこれもやってあげればよかったと思うと同時に、介護が終わったことにホッとしたのも事実です。

安尾さんの母上の話、まさしく「介護あるある」ですね。会でもいろいろ話していると、たくさんの「介護あるある」が出てきます。少しご紹介。

●いくつになっても下ネタ好き……老人ホームでの入浴介助。大事なところを洗うタイミングになると「どこ洗うんだっけ？」と必ず聞いてくるおじいちゃんがいる。

●入浴介助ですよ！……デイサービスから帰って来るなり仏壇に直行したおじいちゃん。「若い女性と風呂に入ってしまった。すまん」とおばあちゃんの遺影に謝っていた。

●お好みは……デイサービスなどで好きなシャンプー持参OKの時、多くの人が持ってくるのは「メリット」。リンスインシャンプーが人気。

●あ～やっちゃった！……下着につけていた尿取りパッドを取り忘れて洗濯機に入れてしまい、吸水体がほかの衣類にくっつき大変なことに。

●誰がいる!……洋服を買いいたいというおばあちゃんに付き添い。
試着室で変なお婆さんがいると叫ぶおばあちゃんに、それって鏡
に映っている貴女ですからと思わずつぶやいた。

●自宅介護のストレス発散?……仕事・家事の最中に「おーい」
「おーい」と何度も呼ばれるけれど、3回に1回は聞こえないふり。
ソファにふんぞり返って「おーい」と叫ぶ夫にも使える。

●家に帰りたい……「家に帰る」と何度も言う父親に毎回適当に
「そうね」と繰り返していたら、ある日突然「ここが俺の家だ!」と
怒鳴られた。わかる時もあるのね〜とびっくり、ニヤニヤ。

つらいことも多い介護ですが、時には愚痴を言って笑い飛ばす
……そんなリセットも介護者にとっては大事な心のケアです。
(kiki)

ニュースレター バックナンバーはこちら

 <https://okahata.wixsite.com/oksite/onl>

ホームページでパートナー登録いただければ、
ダウンロードしていただけます。

 https://okahata.co.jp/onl_member/login.php

岡畑興産株式会社 ニュースレター／毎月発行

2022年4月25日号

発行：岡畑 典裕

岡畑興産株式会社

大阪府大阪市中央区島之内1-5-6

TEL：06-6251-8252 FAX：06-6251-8278

Okahata
OKAHATA&CO.,LTD

OKAHATA NEWS LETTER
2022.4.25 / Issue 022

© 2022 オカハタとアイデアと